

平成22年3月期 第1四半期決算短信

平成21年7月31日

上場取引所 東

上場会社名 株式会社 システム・テクノロジー・アイ
 コード番号 2345 URL <http://systech-i.co.jp/>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長
 問合せ先責任者 (役職名) 執行役員管理本部長
 四半期報告書提出予定日 平成21年8月12日
 配当支払開始予定日

(氏名) 松岡 秀紀
 (氏名) 内山 富士子

TEL 03-5148-0400

(百万円未満切捨て)

1. 平成22年3月期第1四半期の連結業績(平成21年4月1日～平成21年6月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
22年3月期第1四半期	332	10.0	6	102.8	5	6.1	4	
21年3月期第1四半期	369		2		4		1	

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
22年3月期第1四半期	373.08	372.28
21年3月期第1四半期	100.10	

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
22年3月期第1四半期	1,584	1,416	89.3	106,246.35
21年3月期	1,641	1,428	87.0	107,173.26

(参考) 自己資本 22年3月期第1四半期 1,416百万円 21年3月期 1,428百万円

2. 配当の状況

(基準日)	1株当たり配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	年間
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
21年3月期				1,300.00	1,300.00
22年3月期(予想)				1,000.00	1,000.00

(注) 配当予想の当四半期における修正の有無 無

3. 平成22年3月期の連結業績予想(平成21年4月1日～平成22年3月31日)

(%表示は通期は対前期、第2四半期連結累計期間は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期	682	11.0	26	166.3	31	176.6	31	205.3	2,392.06
連結累計期間	1,530	2.7	65	44.6	58	50.4	30	64.2	2,312.64

(注) 連結業績予想数値の当四半期における修正の有無 無

4. その他

- (1) 期中における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) 無
新規 社 (社名) 除外 社 (社名)
[(注) 詳細は、5ページ[定性的情報・財務諸表等] 4. その他をご覧ください。]
- (2) 簡便な会計処理及び四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 無
[(注) 詳細は、5ページ[定性的情報・財務諸表等] 4. その他をご覧ください。]
- (3) 四半期連結財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更(四半期連結財務諸表作成のための基本となる重要な事項等の変更に記載されるもの)
会計基準等の改正に伴う変更 有
以外の変更 有
[(注) 詳細は、5ページ[定性的情報・財務諸表等] 4. その他をご覧ください。]
- (4) 発行済株式数(普通株式)
- | | | | | |
|--------------------|-------------|---------|-------------|---------|
| 期末発行済株式数(自己株式を含む) | 22年3月期第1四半期 | 13,343株 | 21年3月期 | 13,343株 |
| 期末自己株式数 | 22年3月期第1四半期 | 21株 | 21年3月期 | 21株 |
| 期中平均株式数(四半期連結累計期間) | 22年3月期第1四半期 | 13,322株 | 21年3月期第1四半期 | 13,343株 |

業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

連結・個別業績予想につきましては、現時点で入手可能な情報に基づき当社において判断したものであり、リスクや不確定要素が含まれており、実際の成果や業績等は記載の予測とは異なる可能性があります。

【定性的情報・財務諸表等】

1. 連結経営成績に関する定性的情報

当第1四半期連結累計期間におけるわが国経済は、低迷していた景気が最悪期を脱し、景気回復の兆しを示す経済指標が増えてきておりますが、企業の設備投資、雇用情勢につきましては、依然、過剰感は払しょくされておらず厳しい状況が続いております。

このような状況の中、当社グループでは、当社の強みである豊富なE-Learningコンテンツを生み出す技術力、オラクルに関する高度な専門的な知識を活用したサービス環境の構築に取り組んでまいりました。また、継続して取り組んでいる固定経費、売上原価等のコスト削減に注力いたしました。

その結果、当第1四半期連結累計期間の業績は、売上高332百万円（前年同期比10.0%減）、営業利益6百万円（前年同期比102.8%増）、経常利益5百万円（前年同期比6.1%増）、四半期純利益4百万円（前年同期は、1百万円の損失）となりました。

事業別の概況は、以下のとおりであります。

[iLearning事業]

iLearning事業につきましては、法人向けサーバーソフトウェア「iStudy Enterprise Server」のカスタマイズ案件や、ソフトウェア開発関連の需要が好調に推移いたしました。

その結果、売上高168百万円（前年同期比26.5%増）、営業利益14百万円（前年同期は11百万円の損失）となりました。

[Learning事業]

Learning事業につきましては、オラクル社認定研修において、従来使用していた紙テキストが6月より電子ファイル形式のテキストに変更になったことにより、オンラインドキュメントに直接メモを取れるツール「iStudy Viewer」の開発及び本番稼働に注力いたしました。企業の教育費削減等の影響によりオラクル社認定研修を中心に研修関連の需要が落ち込みましたが、当認定会場では、受講者ひとりひとりに、テキスト専用モニターを設置し「iStudy Viewer」を使用して、あたかも紙テキストにメモが取れるような感覚で、電子ファイルテキストにメモをとれるサービスを開始し、他会場との差別化を図りました。

その結果、売上高86百万円（前年同期比28.2%減）、営業利益0.4百万円（前年同期比96.5%減）となりました。

[人材紹介・派遣事業]

人材紹介・派遣事業につきましては、雇用悪化の影響が続き売上高は低迷いたしました。DBエンジニアを中心に即戦力でハイエンドな人材の確保、提供に注力し、固定費の削減に取り組んでまいりました。

その結果、売上高77百万円（前年同期比33.1%減）、営業損失0.4百万円（前年同期は、10百万円の利益）となりました。

2. 連結財政状態に関する定性的情報

(1) 資産、負債及び純資産の状況

当第1四半期連結会計期間末の資産は、前連結会計年度末に比べて57百万円減少し、1,584百万円となりました。これは、主に現金及び預金35百万円、売掛金16百万円、のれんの償却額8百万円の減少によるものであります。負債は、前連結会計年度末に比べて44百万円減少し167百万円となりました。これは、主に買掛金28百万円、未払法人税等15百万円の減少によるものであります。純資産は、前連結会計年度末に比べて12百万円減少し1,416百万円となりました。これは、利益剰余金12百万円の減少によるものであります。

(2) キャッシュ・フローの状況

当第1四半期連結会計期間末における現金及び現金同等物(以下「資金」という。)は、前連結会計年度末に比べて35百万円減少し、520百万円となりました。各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は以下のとおりであります。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動の結果支出した資金は、14百万円となりました。これは、収入では、税金等調整前四半期純利益5百万円、減価償却費9百万円、売上債権の減少による収入16百万円があり、支出では、法人税等の支払額14百万円、仕入債務の減少による支出28百万円等があったことによるものであります。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動により支出した資金は、7百万円となりました。これは固定資産の取得にかかる支出によるものであります。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動の結果支出した資金は、14百万円となりました。これは配当金の支払いによる支出であります。

3. 連結業績予想に関する定性的情報

当第1四半期連結累計期間においては、研修関連及び人材紹介・派遣関連売上高を中心に売上高が低迷いたしました。比較的利益率の高い開発やカスタマイズ案件の成約があったことと、コスト削減等への取り組みにより、利益は業績予想を上回る状況で推移いたしました。景気回復の兆しは見えてきているものの、雇用環境や企業の教育関連投資につきましては、依然厳しい状況が続いております。現時点におきましては、平成21年5月1日に公表しました業績予想から変更はありません。

4. その他

(1) 期中における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)
該当事項はありません。

(2) 簡便な会計処理及び四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用
該当事項はありません。

(3) 四半期連結財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更

ソフトウェアの請負開発及びカスタマイズ作業に係る収益の計上基準については、従来、検収基準を適用しておりましたが、「工事契約に関する会計基準」(企業会計基準15号 平成19年12月27日)および「工事契約に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第18号 平成19年12月27日)を当第1四半期連結会計期間より適用し、当第1四半期連結会計期間に着手したソフトウェアの請負開発及びカスタマイズ作業のうち、当第1四半期連結会計期間末までの進捗部分について成果の確実性が認められるものについては、工事進行基準を、その他の契約については検収基準を適用しております。なお、進捗度の見積りについては、あらかじめ契約上の成果物を作業工程単位に分割するとともに各作業工程の価値を決定し、決算日において完了した作業工程の価値が全作業工程に占める割合をもって作業進捗度とする方法を用いております。これにより、売上高は9百万円増加し、営業利益、経常利益及び税金等調整前四半期純利益は、それぞれ5百万円増加しております。

なお、セグメント情報に与える影響は、当該箇所に記載しております。

SaaS型(Software as a Service)ソフトウェアである「iStudy Ondemand SaaS Edition」は、従来、利用許諾期間開始時(ライセンス付与日)をもって一括売上計上する方法を採用しておりましたが、当第1四半期連結会計期間より、利用許諾期間に対応して売上計上する方法に変更しております。この変更は、今後「iStudy Ondemand SaaS Edition」による顧客の利用の増加及び利用期間の長期化が見込まれることから、期間損益計算のより一層の適正化を図ることを目的として行ったものであります。これにより、売上高は11百万円減少し、営業利益、経常利益及び税金等調整前四半期純利益は、それぞれ10百万円減少しております。

なお、セグメント情報に与える影響は、当該箇所に記載しております。

(注) SaaS型(Software as a Service)

ソフトウェア機能のうち、ユーザーが必要とするものだけをサービスとして配布し利用できるようなソフトウェアの形態をいいます。

5.【四半期連結財務諸表】
 (1)【四半期連結貸借対照表】

(単位：千円)

	当第1四半期連結会計期間末 (平成21年6月30日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成21年3月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	618,456	654,090
売掛金	178,371	195,109
有価証券	10,107	10,104
商品及び製品	10,505	12,054
原材料及び貯蔵品	1,706	1,781
前払費用	18,801	13,146
その他	8,186	6,874
貸倒引当金	788	1,091
流動資産合計	845,347	892,069
固定資産		
有形固定資産		
建物(純額)	14,499	14,022
工具、器具及び備品(純額)	29,733	28,556
有形固定資産合計	44,233	42,579
無形固定資産		
のれん	608,835	619,083
ソフトウェア	31,981	29,869
その他	1,517	4,335
無形固定資産合計	642,334	653,289
投資その他の資産		
敷金及び保証金	47,263	47,263
その他	7,466	8,478
貸倒引当金	2,183	2,183
投資その他の資産合計	52,545	53,558
固定資産合計	739,113	749,426
資産合計	1,584,461	1,641,496
負債の部		
流動負債		
買掛金	58,427	87,012
未払金	19,761	30,918
前受金	27,775	29,892
前受収益	33,309	15,603
未払法人税等	1,375	17,176
未払消費税等	6,804	9,693
その他	10,461	10,627
流動負債合計	157,915	200,925
固定負債		
退職給付引当金	9,922	11,880

(単位:千円)

	当第1四半期連結会計期間末 (平成21年6月30日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成21年3月31日)
繰延税金負債	120	127
固定負債合計	10,043	12,007
負債合計	167,959	212,932
純資産の部		
株主資本		
資本金	346,872	346,872
資本剰余金	982,320	982,320
利益剰余金	86,970	99,318
自己株式	750	750
株主資本合計	1,415,413	1,427,762
新株予約権	1,087	801
純資産合計	1,416,501	1,428,563
負債純資産合計	1,584,461	1,641,496

(2)【四半期連結損益計算書】
【第1四半期連結累計期間】

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成20年4月1日 至平成20年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成21年4月1日 至平成21年6月30日)
売上高	369,120	332,182
売上原価	236,449	198,626
売上総利益	132,671	133,555
販売費及び一般管理費		
役員報酬	16,043	17,060
給料手当及び賞与	45,957	46,799
法定福利費	6,911	6,521
広告宣伝費及び販売促進費	4,125	6,078
賃借料	8,932	9,036
退職給付引当金繰入額	1,843	42
支払報酬	5,592	5,944
貸倒引当金繰入額	5,250	-
減価償却費	4,183	5,532
のれん償却額	8,178	8,178
その他	22,687	22,345
販売費及び一般管理費合計	129,705	127,539
営業利益	2,966	6,016
営業外収益		
受取利息	118	91
その他	3,936	1,109
営業外収益合計	4,055	1,200
営業外費用		
その他	2,258	2,165
営業外費用合計	2,258	2,165
経常利益	4,763	5,051
特別利益		
貸倒引当金戻入額	630	303
特別利益合計	630	303
特別損失		
投資有価証券評価損	573	-
特別損失合計	573	-
税金等調整前四半期純利益	4,820	5,354
法人税、住民税及び事業税	5,049	120
法人税等調整額	1,106	263
法人税等合計	6,155	384
四半期純利益又は四半期純損失()	1,335	4,970

(3)【四半期連結キャッシュ・フロー計算書】

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成20年4月1日 至平成20年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成21年4月1日 至平成21年6月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	4,820	5,354
減価償却費	7,027	9,437
のれん償却額	8,178	8,178
貸倒引当金の増減額(は減少)	4,620	303
長期前払費用償却額	281	160
退職給付引当金の増減額(は減少)	1,843	1,957
有価証券及び投資有価証券評価損益(は益)	573	-
受取利息及び受取配当金	118	91
為替差損益(は益)	0	0
売上債権の増減額(は増加)	31,538	16,738
たな卸資産の増減額(は増加)	10,276	1,623
仕入債務の増減額(は減少)	3,526	28,584
その他	35,523	10,277
小計	9,437	277
利息の受取額	35	19
法人税等の支払額	25,917	14,562
営業活動によるキャッシュ・フロー	16,444	14,265
投資活動によるキャッシュ・フロー		
固定資産の取得による支出	359	7,243
その他	1,219	0
投資活動によるキャッシュ・フロー	1,579	7,243
財務活動によるキャッシュ・フロー		
配当金の支払額	-	14,125
財務活動によるキャッシュ・フロー	-	14,125
現金及び現金同等物に係る換算差額	0	0
現金及び現金同等物の増減額(は減少)	18,023	35,633
現金及び現金同等物の期首残高	452,320	556,376
現金及び現金同等物の四半期末残高	434,296	520,743

(4) 継続企業の前提に関する注記
該当事項はありません。

(5) セグメント情報

【事業の種類別セグメント情報】

前第1四半期連結累計期間（自 平成20年4月1日 至 平成20年6月30日）

（単位：千円）

	iLearning事業	Learning事業	人材紹介・派遣事業	計	消去又は 全社	連結
売上高及び営業損益						
売上高						
(1) 外部顧客に対する売上高	133,086	120,183	115,850	369,120	-	369,120
(2) セグメント間の内部売上高 又は振替高	-	-	-	-	-	-
計	133,086	120,183	115,850	369,120	-	369,120
営業費用	144,227	107,946	105,802	357,976	8,178	366,154
営業利益又は営業損失()	11,140	12,236	10,048	11,144	(8,178)	2,966

(注) 1 事業区分の方法

事業は、製品等の種類、性質および市場の類似性を考慮して区分しております。

2 事業の主な内容

(1) iLearning事業

E-Learning学習ソフトウェア「iStudyシリーズ」及びE-Learning、スキル管理サーバソフトウェア「iStudy Enterprise Server」の開発・販売

(2) Learning事業

Oracle認定研修・IBM認定研修

(3) 人材紹介・派遣事業

ITエンジニア向けの転職、派遣紹介

3 営業費用のうち、消去又は全社に含めた配賦不能費用は、8,178千円であり、連結上発生したのれん償却額であります。

当第1四半期連結累計期間(自 平成21年4月1日 至 平成21年6月30日)

(単位:千円)

	iLearning事業	Learning事業	人材紹介・派遣事業	計	消去又は 全社	連結
売上高及び営業損益						
売上高						
(1)外部顧客に対する売上高	168,409	86,268	77,504	332,182	-	332,182
(2)セグメント間の内部売上高 又は振替高	-	-	7,736	7,736	(7,736)	-
計	168,409	86,268	85,241	339,919	(7,736)	332,182
営業費用	154,200	85,842	85,709	325,753	413	326,166
営業利益又は営業損失()	14,209	425	468	14,166	(8,150)	6,016

(注) 1 事業区分の方法

事業は、製品等の種類、性質および市場の類似性を考慮して区分しております。

2 事業の主な内容

(1) iLearning事業

E-Learning学習ソフトウェア「iStudyシリーズ」及びE-Learning、スキル管理サーバソフトウェア「iStudy Enterprise Server」の開発・販売

(2) Learning事業

Oracle認定研修・IBM認定研修

(3) 人材紹介・派遣事業

ITエンジニア向けの転職、派遣紹介

3 営業費用のうち、消去又は全社に含めた配賦不能費用は、8,178千円であり、連結上発生したのれん償却額であります。

4 会計処理の変更について

(1) ソフトウェアの請負開発及びカスタマイズ作業に係る収益の計上基準については、従来、検収基準を適用しておりましたが、「工事契約に関する会計基準」(企業会計基準15号 平成19年12月27日)および「工事契約に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第18号 平成19年12月27日)を当第1四半期連結会計期間より適用し、当第1四半期連結会計期間に着手したソフトウェアの請負開発及びカスタマイズ作業のうち、当第1四半期連結会計期間末までの進捗部分について成果の確実性が認められるものについては、工事進行基準を、その他の契約については検収基準を適用しております。これにより、iLearning事業に係る売上高は9百万円増加し、営業利益、経常利益及び税金等調整前四半期純利益は、それぞれ5百万円増加しております。

(2) SaaS型(Software as a Service)ソフトウェアである「iStudy Ondemand SaaS Edition」は、従来、利用許諾期間開始時(ライセンス付与日)をもって一括売上計上する方法を採用しておりましたが、当第1四半期連結会計期間より、利用許諾期間に対応して売上計上する方法に変更しております。この変更は、今後「iStudy Ondemand SaaS Edition」による顧客の利用の増加及び利用期間の長期化が見込まれることから、期間損益計算のより一層の適正化を図ることを目的として行ったものであります。これにより、iLearning事業に係る売上高は11百万円減少し、営業利益、経常利益及び税金等調整前四半期純利益は、それぞれ10百万円減少しております。

【所在地別セグメント情報】

前第1四半期連結累計期間(自 平成20年4月1日 至 平成20年6月30日)

本邦以外の国又は地域に所在する連結子会社及び在外子会社がないため、該当事項はありません。

当第1四半期連結累計期間(自 平成21年4月1日 至 平成21年6月30日)

本邦以外の国又は地域に所在する連結子会社及び在外子会社がないため、該当事項はありません。

【海外売上高】

前第1四半期連結累計期間（自 平成20年4月1日 至 平成20年6月30日）

該当事項はありません。

当第1四半期連結累計期間（自 平成21年4月1日 至 平成21年6月30日）

該当事項はありません。

(6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。